

箱根組ニュース

第355号 2022年 11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

筑波山、ロープウェイとケーブルで楽々コース！ ホテルの展望露天風呂も満喫する。

10月16日(日)、つくばエクスプレスの秋葉原駅に集まったのは、太田、星野(幸)、有倉、星野、和田、神吉、戸丸の7名。割安で便利な筑波山キップを買って乗り込む。

地下駅から出発した電車は快適に東平野の田園地帯を駆け抜ける。天気は雲が多いが雨が降ることはないようだ。快適な電車は、あつという間で、8時45分、つくば駅に到着。駅に降りて地上のトイレによっていると、松戸から参加の菊池さんが合流。「久しぶりだね」とみんな懐かしそうに声をかける。というわけで今日の参加者は総勢8名。

9時発の筑波山行きのシャトルバスに乗車。車内は数人が立っているという状況で約50分。筑波神社入口でほとんどの人がおりて、あとは箱根組のほぼ貸し切り状態。

9時50分、つつじが丘に到着。

筑波山は女体山と男体山の二つの山頂を持つ山で女体山の方が標高877mで男体山よりも6mほど高い。そして

山頂の雰囲気も断然女体山が素晴らしい。岩だらけの山頂は展望も良く魅力的だ。それに比べると男体山はアンテナ施設が中央に占拠していて雰囲気も残念ながらあまりよくない。

さて、筑波山は南側の筑波山神社から登るのが主流だと思うが、このルートは男体山のふもとの御幸ヶ原に到着する。だが、このつつじが丘は南東側のルートで女体山に直接向かうことができるルートだ。

と言いながらも、今日は楽々コースなので、このつつじが丘から出るロープウェイを利用する。約6分で女体山駅に到着だ。歩けば1時間40分はかかる。

少しストレッチをしてロープウェイ乗り場に並ぶ。切符売り場、そして改札前どちらもたくさんの人が並んでいる。30人ほどの団体も別に並んでいた。

筑波山には何度か来ているが、ロープウェイに乗るのは初めての体験だ。ぐんぐんと高度を上げてあつという間に女体山駅に到着する。曇りがちの天気だが、



関東平野の広さは実感できた。

真っ赤な車両のケープルカーを降りて改札を出て階段を降りると展望広場に出るが、ガスが上がってきていて残念ながら景色は見えない。右側の階段を九十九折れにゆっくりと登って行く。たくさんのお観光客とすれ違い、追いつかれない。アザミの花が咲いている。その隣に大きなアザミかと思ったら、調べてみたらどうやら「オヤマボクチ」のようだ。大きな丸い赤紫のアザミのような感じのりとした花が咲いている。葉は食べられる野草のようで蕎麦のつなぎや草餅の材料にも使われるようだ。存在感のある花だ。

階段を登りきると、すぐに右上が女体山の山頂だ。手前の立派な社が見えているがここで小休止。

岩がごろごろしている道を少し進む

収支	
繰越収入	23905 円
支出	0 円
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
現在高	23205 円

と社につく。お参りをしてすぐ裏の山頂へ。岩の上に進むと絶景なのだが、滑りやすいし、人が多いのでかなり危険だ。景色はかすんでいてほとんど見えないのであきらめて標識で記念撮影だが、ひっきりなしにやってくる登山客、観光客にしばらくは待つしかない。つつじが丘方面からの人、ロープウェイから来る人、男体山方面からの人が一緒にいるので大変な混雑だ。

左側からの登山客が切れたのを見て集合写真を撮るやつのことと撮ることができた。

さて、踵を返して昼食会場の御幸ヶ原に向かって下ってゆく。大勢の人の波の中を歩いてゆくような感じがした。

ゴロゴロした石が多く多少ぬかるんでもいて滑りやすいので慎重に進む。

左側に「大モミジ」の大木が立っている。見上げるととても立派な枝ぶりだ。紅葉したさぞや奇麗に違いない。ガマが口を開けているような「ガマ石」が右上にある。口にみんなが小石を投げるので、口が石で一杯だ。

少し行くと右に「せきれい茶屋」反対側の色づいた紅葉

11月20日(日) 九鬼山(970m)へ行きます。

レギュラーコース 歩行時間5時間20分

(九鬼山まで1時間40分、

九鬼山から大月まで3時間40分)

富士急行線禾生駅から登ります。大月駅への少し長いルートを歩きます。

※エスケープルートは田野倉駅へ(3時間20分)

※猿橋駅へは(4時間50分)

○持ち物 昼食、飲料水(少し多めに)、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 11月18日(金)

集合 11月20日(日)

京王線新宿駅 6:09発
急行高尾山口行き(前から3両目)

高尾 6:59着(JR乗換)
7:06発 甲府行き
大月 7:42着(富士急線乗換)
7:55発 禾生8:04着

交通費 新宿～禾生 片道1266円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

がきれいだった。もうひと踏ん張りして下って行く。

12時少し前、昼食会場の御幸ヶ原に到着。広いエリアでお土産店が並び、望遠鏡のある広場や公衆トイレがある。何よりケーブルカーの駅が目の前だ。

西方向に10分ほど登れば男体山山頂だが、岩だらけで上りにくい。今日はもちろんパス。

土産店の反対側、南側にバーナーエリアというのがあったのでそこを昼食会場ということにした。すぐ横で「ガマの油売り」の口上をやっていたのでそれを聞きながらの昼食だ。

今日は簡単な豚汁を急遽作ることにした。豚肉、舞茸、お豆腐、長ネギで作る。中々美味しく出来上がった。持ち寄りの美味しい総菜とビールを少々、神吉さんの梅酒や有倉さんのブドウも美味しかった。

1時過ぎ、荷物を片付けて出発。ケーブル駅に並んでいると、列はどんどん長くなって、100人以上は並んでいるようだった。

ケーブルカーに乗り込むと、車内は天井から溢れるばかりの花がぶら下がって、さしづめ花電車だ。何かのイベントとかで、乗車中声優さんが何かの物語を朗読していた。

8分ほどで駅に到着。階段を降りてゆく。右側で地元の野菜などを売っていた。

左に曲がって降りてゆくと、筑波山神社。とても大きくて立派だ。お参りをし而降りてゆく。ここでも参道右側の広場で「ガマの油売り」の口上をやっていた。演者によって雰囲気はかなり違うようだ。

階段を下りてゆき車道を右に曲がると「ホテル青木屋」。ここで筑波山温泉の展望露天風呂を楽しむことにする。1100円のところ、割引券で950円で入ることができた。

ホテル屋上の展望風呂は関東平野が一望で絶景。少し青空も出てきて爽快だった。都心の高層ビルやスカイツリーも見えているようだった。

一人で男風呂に入ると先客の若者が入っていた。話しかけると筑波大学の大学院生で就職も決まっただけで一段落したので温泉を楽しみに来たそう。岡山出身の彼は筑波が気に入っているようだった。礼儀正しい彼は挨拶をして先に上がっていった。

風呂から上がって下のロビーでゆったりとくつろぐ。やはりここも景色がよく気持ちがいい。休んでいると日差しが入ってきてブラインドが途中まで降りてきた。女性陣が上がってきて揃ったの

で出発する。

10分ほどで筑波山神社バス停。バス停に着いたとたん、もつと早く来ればよかったと思ったが後の祭り。すでに大勢の人が並んでいてとても乗り切れそう。人数ではない。案の定、我々の数人前で次のバスをご利用くださいという感じでバスは出発してしまった。

30分後のバスによりやく乗ることができた。しかし全員立ったままだった。つくば駅に到着し、今度は座って快適なつくばエクスプレスで東京に向かう。人また人の筑波山だったが十分に楽しむことができた。



